

# 共創パートナー募集 — ホテル・旅館の皆さまへ



# いま、日本の家族が抱える課題

出産を迎える家族は、これまで以上に不安を抱えています。

- 産後うつが増加
- ワンオペ育児・孤立
- 相談先の不足
- 産後ケアの地域格差

これらは、医療や行政だけでは解決できない“社会の構造課題”です。

しかし、ここにこそ

**ホテル・旅館が社会を支える新しい役割を担えるチャンス** があります。

# 一般社団法人ジャパンママケアホテル推進協会の挑戦

私たちは、

「産前・産後の母子・家族が安心して休める場所」を全国に届けるという使命のもと、民間主導で新しいケアインフラを構築しています。

その中心となるのが、

**総合旅行業 × ホテル・旅館 × 助産師職能団体（助産師） + 企業**が連携する「三者共創モデル」です。

- **ホテル・旅館**：安心して休める空間・おもてなし
- **旅行者**：全国の宿泊ネットワーク・安全・品質管理
- **助産師職能団体（助産師）**：専門的なケア・相談支援
- **企業**：利用料の負担（福利厚生・健康経営）

自治体は“サブ”として補助的に支援し、**持続可能な民間インフラとして全国展開できる仕組み**を実現します。

# ホテル・旅館が共創に参加するメリット

## ✓ 1. 新しい宿泊需要の創出（観光でもビジネスでもない“家族ケア”）

産前・産後のママと家族は、

「安心して休める場所」を求めています。

これは、これまでの宿泊市場にはなかった**新しい需要・新しい顧客層**です。

- 平日・閑散期の稼働率向上
- 長期滞在ニーズの増加
- 新規顧客層（妊婦・産後ママ・家族）の獲得

## ✓ 2. “地域の安心拠点”としてのブランド価値向上

ホテル・旅館が、地域の家族を支える場所になることで、  
企業・自治体・地域医療との連携が広がります。

- 地域貢献の可視化
- CSR（企業の社会的責任） / ESG（環境：E・社会：S・ガバナンス：G）の強化
- 地域医療との連携による信頼性向上

### ✓ 3. 従業員の“おもてなし力”が社会を支える価値に変わる

この事業に必要なのは、  
医療行為ではなく、**安心をつくるおもてなし**です。

- 静けさ
- 清潔さ
- プライバシーの尊重
- 寄り添うコミュニケーション

ホテル・旅館が日々大切にしている“当たり前の品質”が、  
産前・産後のママと家族にとっては**かけがえのない支え**になります。

#### ✓ 4. 助産師との連携で“安心の可視化”が生まれる

助産師が関わることで、

「安心して泊まれる」「専門家に相談できる」

という価値が生まれます。

これは、一般の宿泊サービスでは提供できない**圧倒的な差別化要素**です。

# 従業員の皆さまへ

あなたの一言が、家族を救うことがあります

産前・産後のママは、  
「誰にも迷惑をかけたくない」「弱音を言えない」と感じていることが多くあります。

そんなとき、  
**“大丈夫ですよ。ゆっくりお過ごしくださいね”**  
という一言が、どれほど救いになるか計り知れません。

ホテル・旅館のスタッフが持つ  
**やさしさ・気遣い・丁寧さ** は、医療でも行政でも代替できない価値です。

あなたの接客が、家族の人生の大切な時間を支える力になります。

# 共創で実現する未来

私たちが目指すのは、

“どこに住んでいても、家族が安心して休める社会”です。

- 産前・産後の不安が軽減される
- 家族が前向きにスタートできる
- 地域に新しいケア文化が根づく
- ホテル・旅館が“地域の安心インフラ”になる

これは、単なる宿泊サービスではありません。**日本の未来を支える社会インフラづくり**です。

# 共創パートナーとして参加いただきたい ホテル・旅館の皆さまへ

- 新しい宿泊需要を取り込みたい
- 地域に貢献できる事業をつくりたい
- 従業員の“おもてなし力”を社会価値に変えたい
- 日本の家族の未来を支えるインフラをつくりたい

その想いを持つ施設と、私たちはともに歩みたいと考えています。

## まずはお気軽にご相談ください

- どのように参画できるのか
- 自施設の強みをどう活かせるのか
- 助産師との連携方法
- 企業・自治体との連携の仕組み

丁寧にご説明し、最適な形をご提案します。

**あなたの施設が、日本の家族の未来を支える拠点になります。**

### お問い合わせ

一般社団法人ジャパンママケアホテル推進協会

メール：info@m-mirai.co.jp

電話：03-5148-1007